

平成 22 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	会計学

以下の問 1 及び問 2 の両方に答えなさい。なお、問 1 は解答用紙の 1、2 ページを、問 2 は解答用紙の 3、4 ページを用いて解答しなさい。

問 1 企業合併に関する次の問に答えなさい。

- (1) 企業結合の際に生ずる「(正の) のれん」及び「負ののれん」とは何かについて示すとともに、「(正の) のれん」及び「負ののれん」がどのような場合に生ずるか説明しなさい。
- (2) 「(正の) のれん」の会計処理方法として、①規則的に償却を行う方法と、②規則的に償却を行わない方法と二つが考えられますが、それぞれの方法の内容とそれが適用される理由（根拠）について説明しなさい。
- (3) 「負ののれん」の会計処理方法として、規則的な償却をせず発生時の利益とする会計処理方法が適用される理由（根拠）について、「負ののれん」の実体的内容に言及しながら説明しなさい。

問 2 製品原価計算に関する下記の問に答えなさい。

- (1) 標準原価計算では、標準原価の設定に各種のタイトネス（厳格度）が利用されるが、公表財務諸表に主として用いられるタイトネスを挙げ、その理由を説明しなさい。
- (2) 製造間接費の製品への配賦について、操業度（業務量）による単一配賦基準を採るよりも、種々の活動による複数配賦基準が現代企業の経営環境に適合しているとされる理由を説明しなさい。

以上